

地域	基	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
					乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1) 地域住民との交流を促進する活動	ブロックやんちゃフェスタ	1回	ブロックやんちゃ実行委員会				9				9	学童連盟 達成感が味わえた 学童連盟 地域住民 市井先生 采野先生 中京中学校 林先生 親子で伝統文化を堪能できた。		
	ステージ発表	1回	〃		1	7	1	6			15			
	ドッジボールフェスティバル	1回	ブロックやんちゃ実行委員会		2	15	7	4			28			
	開館50周年記念じどうかんまつり	1回	児童館	113	118	5	43	0	2	177	458			
	のんちゃんの音楽ランド♪	14回	児童館	117	4	175	0	20	0	110	426			
	ベビーマッサージ	3回	児童館	25						24	49			
	ふれあい広場(けん玉ステージ)	1回	自治連		1	3	2	1			7			
	中学校と乳幼児の交流	中止												
	版画体験	1回	児童館		1	21	0	6	0	8	36			
	親子で清水焼絵付け体験	1回	児童館	13	9	1	1	0	0	17	41			
合計		—	268	136	236	54	37	2	336	1,069				
(2) ボランティア活動の推進	活動内容				活動人数				成果と課題					
					中学生	大学生	大人	合計						
	大学生ボランティア					2		2	(新型コロナウイルス感染症対策済み)					
	花園大学との交流								近隣の大学との交流ができた。児童館のPRができた					
	立命館大学					19		19	〃					
	のんちゃんの音楽ランド♪				1		14	15	地域人材の活用。好評					
	版画体験						1	1	地域人材の活用。版画への興味が深まった。					
	手話で交流しよう						22	22	手話への興味、関心がより高まった。保護者にも好評。					
	ベビーマッサージ						3	3	地域人材の活用。ニーズが多い。					
	ママヨガ						12	12	リフレッシュできた。子育て相談も実施。					
オレンジガーデニングプロジェクト(同志社大学)					6	15	21	老人と交流、エコについて学ぶ。認知症の理解はむずかしい。						
親子で清水焼絵付け体験						3	3	伝統文化を知るきっかけになった。親子で堪能できた。						
合計				1	27	70	98							
(3) 地域との連携を促進する活動	連携団体等		連携内容				成果と課題							
	主任児童委員、民生委員との連携		館行事のお誘い、情報交換、きつぱあくへの参加、児童館まつりの協力				連携が深まった。							
	朱八小学校との連携		コロナの情報共有、日々の子どもの様子、発達障害、家庭問題等についての情報交換、会議、まつり、あそびの発表、ドッジボールの場所提供など				コロナ禍でより連携が深まった。特に支援が必要な子供に対しては、会議を開いて専門機関につなげた「学びの教室」とも連携を図っていきたい。放課後の場所提供							
	聚楽保育所との連携 洛陽幼稚園、民生委員		地域における子育ての情報交換 地域における子育ての情報交換 子育て講演会 えほん館 花田 陸子氏/コンサート1 移動動物園など				好評 えほんの大切さを知る。来年度も実施予定 つながりが深まった							
	子どもはぐくみ室との連携 第二パーチェ 児童館学童連盟		子どもの心の発達の理解 困りをもった児童の個別カンファレンス きいてきいてぼくのわたしの気持ち(乳幼児編) 発達検査、保護者を交えてカンファレンス会議				子どもの取り巻く環境について把握し、それぞれでできることを各機関行う。本人および親子支援。情報交換、連携をより深める。 自己肯定感を高めるためにはどうしたらよいか。							

(R5) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (京 都 市 円 町) 児 童 館

地 域 福 祉 促 進 機 能	基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
			中京区子育て支援ネットワーク会議	京都市聚楽保育所 京都市児童福祉センター 子どもはぐくみ室 社会福祉法人保健福祉の会 パーチェ	3回	子育てステーションを知って もらう取組	コロナ禍のため自粛ムード であったが、他機関との意見交換 することができ、課題や問題点 を共有できた 他の児童館を知るきっかけになった 子どもの心の発達や関わり について理解を深めた。 必要な支援につなげることが できた	
			朱八学区地域子育て支援ネットワーク会議	民生委員、洛陽幼稚園、洛西保育園 朱雀第八小学校、パーチェ	3回	子育てマップ館内掲示、講演会実施 地域における子育てについての 情報交換	朱八地域での課題共有ができ 解決策の1つとしてマップ活用 を行うなど地域子育て支援に 有益な取組が行われた。特に 講演会、移動動物園は、参加者 の反応が非常によく、次回も 行う。	
		朱八学区地域子育て支援ネットワーク事業	民生委員、洛陽幼稚園、洛西保育園 朱雀第八小学校、パーチェ	5回	移動動物園・音遊びコンサート 講演会2回 オレンジガーデニングプロジェクト			
社 促 進 機 能	推 進 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題
			大型絵本	読み聞かせ	朱八じゃんけんほん	ずいきまつりの大型絵本なので、地域の子ども達に 伝わった。		
		おもちゃ	きつぱあく	民生委員、民生児童委員	より連携が深まった。 取組の最初から参加。児童館をより知ってもら うきっかけとなった。			
		(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
	登、下館の安全点検	子どもの安全確保	学童クラブ児童登下館路 近隣の公園	学童クラブ児 児童館	登、下館子ども達と一緒に 歩いて危険個所の把握 安全指導 毎日自転車で巡回 直接行き、時間帯に どれぐらい利用があるのか 調べる	110番の家把握、危険個所の確認 毎日、丸太町の横断歩道(オアシス、エディオン) に職員が立ち安全指導及び周辺の帰り方指導 玄関前出入口の安全指導、毎日帰宅指導(自転車) 見回りを毎日行う。 児童公園にて出前児童館(幼児クラブ)を実施		

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	年12回	学童クラブ登録家庭 自由来館児童 幼児クラブ・ひろば保護者 1ブロック児童館・学童保育所 協会児童館・小学校・はぐくみ室 聚楽保育所 朱八ネットワーク会議関係機関 朱八学区町内	手渡し 自由持ち帰り 幼児クラブ・ひろば時に配付 会議時に配付 メール配信(毎月25日) 小学校に持参 各依頼施設にちらし設置 児童館外自由にとれるよう箱設置 閲覧板 ホームページに掲載	行事計画や活動内容のお知らせ 子育て支援情報 児童作品	内容のより充実 個人情報の取り扱いを慎重に行う。 児童館玄関の掲示 近隣の幼稚園、保育園に配付することで みて来られる人が増えた。 毎月のおたよりに載せるとともに、新生児 ゴミ袋取りに来館した人に口頭で伝えたり
	学童クラブだより	年12回	学童クラブ登録保護者 1ブロック児童館・学童保育所 協会児童館 小学校	館内配布 会議時に持参 メール配信 学校に持参	行事計画や活動内容のお知らせ 子育て支援情報 児童作品(切り絵展示) 子ども達の様子	ホームページを見てこられる人が増えた。 広報内容の充実を図る 個人情報の取り扱いを(写真)慎重に行う。
	乳幼児クラブ・乳幼児ひろば案内 卓球クラブ けんだまクラブ きりエクラブ	年3～6回	各クラブ登録児童・保護者	手渡し	行事予定や活動内容のお知らせ	
	児童館掲示板	月1回	各クラブ員 地域住民	道路に面した掲示板に掲示 おたより配架	行事予定や活動内容のお知らせ 子育て支援情報	通りがかりの人でも目を引くような工夫をする
	利用者満足度アンケート	年1回	学童クラブ登録児童・保護者 各クラブ保護者 自由来館児童児童	館内掲示 ホームページ掲載	アンケート結果報告 1年間の取り組み	自館の行事・取組・対応を振り返る 機会になっている。 意見要望はできる限り取組に生かしている。
	職員の朱八きつぱあくへの参加	毎月1回	地域住民	職員が出向き、手遊び・ふれあいあそび実施 おもちゃ提供	館の取組紹介	民生委員さん、民生児童委員さんとのつながりが深まった。乳幼児親子の獲得
	ポスター掲示(中高生利用の促進)	常時	中・高生	ポスター掲示・各クラブ0Bに声掛け 子ども達に声かけ	17時から遊戯室解放 自転車でも来館できる。	少しずつではあるが、中・高生が来館するようになった。 ボランティアの育成を目指す